

佐藤 高 清 議員

近鉄弥富駅前⇄佐古木地区 の県道整備の進捗状況は

問

都市計画マスタープラン等について聞く。

- (1) 20年も前から計画のみ存在し、進捗しない道路は再検討が必要ではないか。
- (2) 国道155号の南進【Ⅱ関連記事10面】の進捗率はどうか。
- (3) 弥富名古屋線【Ⅱ関連記事15面・下図】の進捗はどうか。
- (4) 近鉄弥富駅前の鰯浦川のヘド口、雑草を今後どうするのか。
- (5) 盛り土条例制定の必要性を、どう認識しているか。
- (6) 農業マスタープラン策定を、どう認識しているか。

橋梁設計が 23年度着手予定

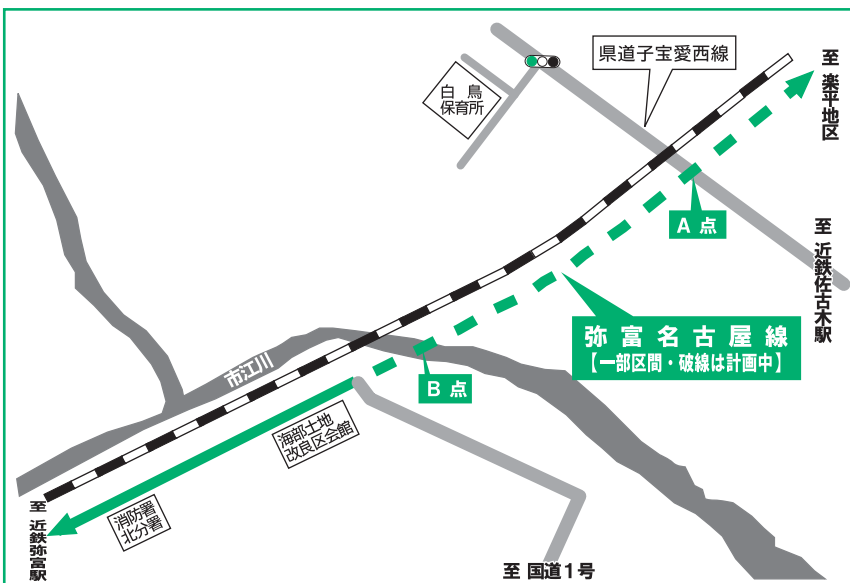
答 都市計画課長

(1) 道路整備は長期間を要することから、情勢の変化等を考慮し、今後、国や県の指導の下、適切に見直しを行い、都市計画道路の整備を推進したい。

答 土木課長

(2) 国道1号から伊勢湾岸自動車道までの7.2km区間のうち、鍋田町地区の伊勢湾岸自動車道以北1km区間は、22年度末の供用開始を目標に(県が)事業実施をしている。

引き続き23年度は境内内の用地測量が着手される予定となっている。
(3) 海部土地改良



区会館から県道子宝愛西線(Ⅱ以下「愛西線」)の400m区間は、約90%の用地買収が完了し、現在までに水路付け替え工事等が行われている。

22年度、愛西線との交差点【A点】付近は、物件補償と用地買収に着手することになっている。

また市江川に新設される橋梁【B点】は、23年度に詳細設計に着手したいと県から聞いている。
延伸区間の楽平地区は、圃場整備の進捗を踏まえ事業化を検討していく。

(4) 22年度、国道1号から弥富駅までの市道拡幅工事を行い、関連事業として(駅付近の)約100m区間の河川の詳細設計を行った。

答 農政課長

(5) 条例策定は考えていないが、農地改良届に関する指導要綱案を現在検討し、農業委員会に提案する予定である。
(6) 他計画の中で必要に応じ見直しをしているので、策定は考えていない。